

第4回 B 中学校（仮称）準備委員会 次第

日時 令和8年3月27日 午後2時～

場所 愛西市役所 南館1階 会議室1－3、1－4

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）検討部会の報告

（2）答申書（案）について

（3）今後の検討について

5 閉会

第2回 B 中学校準備委員会に係る各部会 意見まとめ

令和7年 11 月7日 教育・学校運営部会

(1)校名について

- ・主体性をもってもらうために、子どもたちの意見を取り入れてはどうか
- ・子どもたちが校名決定に携わることで、学校に愛着が湧き、愛西市に住み続けてくれるのではないか
- ・八開中学校と佐織西中学校の生徒が対面で交流しながら、意見を出し合うことで、再編後も続く大人数での交流を体験してもらうことができるのではないか

(2)校歌について

- ・子どもたちや地域の方から、思い入れのある言葉や地域で生活したからこそ思いつく言葉など、キーワードを挙げてもらい、作詞や作曲は専門家に依頼してはどうか
- ・校歌には学校の方針(教育目標など)を反映させるので、方針を優先して決定するべき
- ・開校後 1 年間かけて、入学した子どもたちを中心に作成するのはどうか

(3)校章について

- ・長く使える、誰が見ても地域が分かるものにしてほしい
- ・どの学校の校章なのか分かりやすくするべき
- ・市民への応募後、子供たちが投票する形はどうか

令和7年 11 月11日 施設・通学路部会

(1)通学について

- ・大人目線ではなく、子どもたちの通学の危険箇所について聞く機会を設けてはどうか
- ・交通標識や街路灯等、環境整備を行う必要がある。

(2)自転車通学用の校内駐輪場の収容数について

- ・佐織西中学校の既存の駐輪場は再編後も収容数が確保されるため、増改築は必要がない

(3)八開中学校・佐織西中学校の交通安全指導について

- ・引き続き交通ルールの徹底を学校でも指導してほしい

令和7年 11 月25日 地域課題部会

(1)学校と地域の連携について

- ・地元で育んできた伝統や地域行事との関わりが形を変えてでも可能な範囲で継承してほしい。

(2)PTAについて

- ・やれる人が、やれる範囲でPTA活動に参加できるように進めてほしい

(3)コミュニティスクールについて

- ・これまで地域や学校行事等で活躍していただいた地域の人材を発掘するのはよいのではないか
- ・現在行われている地域連携の取り組みを生かしたコミュニティスクールであるべき

(案)

令和8年3月27日

愛西市教育委員会
教育長 河野 正輝 様

B 中学校（仮称）準備委員会
委員長 勝田 拓真

答 申

令和6年（2024年）10月2日付け6愛西教学第971号をもって諮問のありました、B 中学校（仮称）の創設に向けた取組みについて、慎重に検討を行った結果、別記のとおり答申します。

別

記

第1 はじめに

近年の日本では、人口減少や少子高齢化、社会の多様化やグローバル化など、学校を取り巻く環境が非常に大きく変化している。

こうした中で、平成18年に教育基本法が、平成19年に学校教育法が改正され、新しい時代の教育の基本理念が明確に示され、小中学校の目的と目標が見直された。

さらに、令和3年度から中学校の新たな学習指導要領が全面施行となり、これからの時代に求められる資質・能力を子どもたちに育んでいく教育の実現を目指すこととなった。

近年の八開中学校と佐織西中学校の生徒数は、昭和の時代に比べ大幅に減少している。その一方で、愛知県教育委員会の少人数学級編制研究指定校制度による中学1年生の35人学級制や、授業におけるICTの日常的な活用などから、学校施設の在り方が大きく変わってきている。

また、学校は地域コミュニティの核や避難所としての役割を持っている。学校と地域が、持続的に協働しながら子どもたちを育てていくコミュニティスクール制度は、年々広がり続けており、令和3年度時点で全国公立学校の3分の1で導入されている。学校・家庭・地域の連携強化は、子どもたちのより良い成長に繋がることから、現在、コミュニティスクールを設置していない愛西市においても、導入に向けた検討を進める必要がある。また、有事の際、子どもたちだけではなく地域住民の皆様の安全と安心を支える存在となるように、避難生活や災害対応に必要な機能の整備が求められている。

B中学校（仮称）の創設においては、これらの点を踏まえて、実現していく必要がある。

B中学校（仮称）準備委員会（以下「本委員会」とする。）では、令和6年10月2日に愛西市教育委員会からの諮問を受け、先進地視察や4回の準備委員会、延べ6回の検討部会を通じて、「教育計画・学校運営等に関すること」「学校施設等に関すること」「通学に関すること」「地域課題等に関すること」の4つの観点から慎重に検討を行ってきた。

本委員会としては、以下のとおり答申を行う。

第2 検討結果

本委員会は、令和6年9月から令和8年3月まで約1年半をかけて、教育計画・学校運営等に関することを検討する教育・学校運営部会、学校施設等に関すること、通学に関することを検討する施設・通学路部会、地域課題等に関することを検討する地域課題部会を設置し、それぞれの観点から検討を進め、下記のとおり意見集約した。

(1) B 中学校（仮称）創設に向けた進行計画について

検討すべき事項として、教育・学校運営に関することで72個、施設・通学路に関することで42個、地域課題に関することで15個、計129個の検討事項を洗い出した。（詳細は資料参照）

(2) 再編後の B 中学校（仮称）のあるべき姿について

① 教育計画・学校運営等に関すること

- ・主体性の育成、学校への愛着増進のため、子どもたちの意見を取り入れ、校名を決定すべき。
- ・校歌について、地域での思い入れのある言葉や子どもたちだからこそ出せる言葉を集約。再編後の B 中学校（仮称）に通う生徒にアイデアを出してもらい、校歌を作り上げる方法を検討
- ・校章は、長く使える、誰が見ても地域や学校が分かるもの

② 学校施設等に関すること

- ・現佐織西中学校の駐輪場は、現状のままでも再編後の利用に問題ない規模であるが、老朽化への対応が必要

③ 通学路に関すること

- ・通学路の危険箇所について、子どもたちに意見を聞く機会を設けると良い。

④ 地域課題等に関すること

- ・地域との交流について、令和7年度まで行っていた佐織西中学校と愛西工科高等学校とのものづくり体験は、愛西工科高等学校が令和12年に閉校することに伴い、令和8年度より取りやめることとなった。再編後も状況に合わせて変更しつつ、地域との交流を続けるべき。
- ・PTAについて、加入率が減少しているため、PTAでの活動が子どもたちのためになることを理解してもらうことが必要

第3 愛西市教育委員会への要請事項

(1) 教育計画・学校運営等に関する事

校名、校歌、校章について、子どもたちの意見を取り入れるよう検討すること。
また、校章については、長く使える、誰が見ても地域や学校が分かるものにするよう、検討すること。

(2) 学校施設等に関する事

現佐織西中学校の駐輪場について、老朽化への対応策を検討すること。

(3) 通学路に関する事

通学時に危険を感じる場所を子どもたちに聞くなど、再編後も活用できるような情報を収集するよう、検討すること。

(4) 地域課題等に関する事

状況に合わせた地域交流の継続を検討すること。
また、PTA 活動が子どもたちのための活動であることを保護者に理解してもらうことで、PTA 加入率の増加、保護者と学校の協力体制をより強めるよう、検討すること。

第4 おわりに

本委員会としては、先進地視察により、現在の教育に必要な教育環境を肌で感じながら、様々な立場から多面的に検討を重ねてきたものであるが、改築または大規模改修の方針やB中学校（仮称）の教育方針、再編後の安心安全な通学方法や地域との関わり方など、具体的な計画はこれからであり、現状未確定な部分が多い。

愛西市教育委員会においては、B中学校（仮称）の創設を進める際には、本答申に示した要請事項を十分に検討した上で、学校、保護者、地域住民等からの意見に対し、十分に耳を傾けながら事業を推進するよう要請する。また、B中学校（仮称）が子どもたちの教育環境として、また避難所や地域コミュニティの核として、十分に機能を果たすものとなり、地域から愛される施設となることを心から祈念する。

【資料】

- 1 諮問書
- 2 会議経過
- 3 準備委員会委員名簿
- 4 B 中学校（仮称）創設に向けた進行計画

6 愛西教学第 971 号
令和 6 年 10 月 2 日

B 中学校（仮称）準備委員会 委員長 様

愛西市教育委員会
教育長 河野 正輝

次に掲げる事項について、後記理由を添えて諮問します。

B 中学校（仮称）の創設に向けた取組みについて

（理由）

1. B 中学校（仮称）の設置に至る経緯

近年の日本では、学校を取り巻く環境が非常に大きく変化しています。人口減少と少子高齢化、社会の多様化とグローバル化、技術の革新、新型コロナウイルス感染症、地球規模での気候変動など今まで想定できなかったことが、現実起きています。

こうした中で、国は平成 18 年に教育基本法を、平成 19 年に学校教育法を改正し、新しい時代の教育の基本理念を明確に示すとともに、小中学校の目的と目標が見直されました。さらに、令和 3 年度から中学校の新たな学習指導要領が全面施行となり、これからの時代に求められる資質・能力を子どもたちに育んでいく教育の実現を目指していくことになりました。

これらを受けて、愛西市教育委員会では、小規模校で見られる傾向にある課題を解消し、より充実した教育環境を構築するため、市内小中学校の児童生徒数の減少、学校施設の深刻な老朽化などの現状を踏まえて、令和 4 年 6 月に

「愛西市立小中学校適正規模等基本方針」（以下、「基本方針」とします。）を改訂しました。

そして、基本方針に基づき、令和 6 年 3 月に「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画【第 I 期：令和 6 年度～令和 13 年度】」（以下、「基本計画」とします。）を策定しました。基本計画には、児童生徒数の推移や施設の老朽化状況から、優先して実施する必要がある 5 つの施策を定めており、その中の施策 3 が、「B 中学校を現在の佐織西中学校の場所に配置」であります。

2. B 中学校（仮称）の創設に求められること

（1）教育計画や学校運営等に関すること

B 中学校（仮称）は、現在の八開中学校と佐織西中学校が一つになり、新しくできる学校です。学区が広くなるとともに地域との関わりも広がり、新しいコミュニティが生まれます。学校名はもちろんですが、教育目標とその実現に向けた教育課程や年間計画、学校行事等全てが新しくなるため、遺漏なく準備する必要があります。

何より B 中学校（仮称）に通う子どもたちが、学校の再編により、マイナスの影響を受けることがあってはなりません。生徒への成績評価、生徒指導、生徒会活動、部活動など子どもたちの学習や学校生活の多くの部分で学校ごとに異なるため、調整や新規制定はもちろん、反映させる時期についても非常に重要になります。

また、B 中学校（仮称）は年度開始時に 1～3 年生が一斉に再編する想定ですので、特に 2、3 年生が新しい学校生活をスムーズに送れるような対策が必要です。

（2）施設整備に関すること

現在の佐織西中学校は、昭和 55 年から 56 年に、佐織中学校から分離して新築された、2 棟の校舎を有しています。令和 4 年 3 月には愛西市老朽化対策検討委員会から、老朽化はそれほど進んでいないが、調査を行い、結果に応じた対策と予防保全管理の実施が必要である、とご提言いた

だいております。

近年の佐織西中学校と八開中学校の生徒数は、昭和の時代に比べ大幅に減少しています。一方で、愛知県教育委員会の少人数学級編制研究指定校制度による中学1年生の35人学級制や、授業におけるICTの日常的な活用などから、学校施設の在り方が大きく変わってきています。

文部科学省は、令和4年6月に「中学校施設整備指針」を改訂し、一人一台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学びの実現と、多様な子どもたち一人一人の教育的ニーズに応え、これからの特別支援教育を支える学校施設の在り方について示しています。さらに、ほぼ同時期の令和4年3月に「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の最終報告を取りまとめ、公表しています。

(3) 通学に関すること

B中学校（仮称）は、現在の佐織西中学校の位置に配置することを想定しているため、現在の八開中学校区にお住まいの子どもたちは、新しい通学方法が必要になります。

基本計画における中学生の通学は、基本方針に基づき、6キロメートル以内を原則自転車としています。通学ルートを検討し、B中学校（仮称）に通う全ての子どもたちが、安全に安心して通学できるような整備が必要となります。

(4) 地域課題に関すること

学校は地域コミュニティの核としての機能も併せ持っています。学校と地域が、持続的に協働しながら子どもたちを育てていくコミュニティスクール制度は、年々広がり続けており、令和3年度時点で全国公立学校の3分の1で導入されています。学校・家庭・地域の連携強化は、子どもたちのより良い成長に繋がることから、現在、コミュニティスクールを設置していない愛西市においても、導入に向けた検討を進める必要があると考えています。

もう一つ、学校施設は有事の際に、避難所としての役割を担っています。有事の際、子どもたちだけではなく地域住民の皆様の安全と安心を支

える存在となるように、避難生活や災害対応に必要な機能の整備が求められています。

文部科学省は、令和２年３月に「避難所となる学校施設の防災機能に関する事例集」を公表し、行政、学校、地域の連携した取組みと、災害時の活動を想定した防災機能の検討整備、定期的な点検と訓練が重要と示しています。

３．Ｂ中学校（仮称）の創設について、ご審議を依頼する事項

以上のことを踏まえ、Ｂ中学校（仮称）の創設について、次の事項を中心にご審議をお願いいたします。

（１）教育計画・学校運営等に関すること

学校を経営していく上で必要となる事項について

特に、新しい学区の特性を踏まえること及び再編前の在校生が新しい学校生活にソフトランディングできるような手法の構築について

（２）学校施設等に関すること

子どもたちが毎日学び生活する中学校について

特に、保護者や地域の住民として、子どもたちが主体性を身に付け、多様な子どもたちが一人一人に応じて安全・安心・快適に過ごせるような学校施設について

（３）通学に関すること

子どもたちが安全に安心して通学できる手法について

（４）地域課題等に関すること

地域に必要とされ、地域に存在し続ける中学校について

特に地域の拠点として交流が行われるとともに、有事の際に避難所として機能するために必要な施設について

以上が中心적으로ご審議をお願いした事項ですが、（１）～（４）以外にも、

学校再編に係る子どもたちへのケア、環境を考慮した施設整備など、基本計画に掲げたB中学校（仮称）の創設を中心に、必要な事項についてのご検討もお願いいたします。

会議経過

日付	会議	内容
令和6年 10月2日	第1回準備委員会	・委員長、副委員長の選出 ・諮問の受理 ・準備委員会設置の目的の確認 ・これまでの経緯と現状の確認 ・今後のスケジュールの確認 ・検討部会に関する説明
令和7年 2月10日	瀬戸市立にじの丘学園の視察	・近隣の新設学校の視察
令和7年 2月12日	第1回教育・学校運営部会	・部会長、副部会長の選出 ・視察の感想 ・学校を運営していく上で必要となる事項について検討
令和7年 2月21日	第1回施設・通学路部会	・部会長、副部会長の選出 ・視察の感想 ・子どもたちが毎日学び生活する中学校、子どもたちが安全に安心して通学できる手法について検討
令和7年 3月6日	第1回地域課題部会	・部会長、副部会長の選出 ・視察の感想 ・地域に必要とされ、地域に存在し続ける中学校について検討
令和7年 3月27日	第2回準備委員会	・中間報告書の確認 ・令和7年度の検討事項の検討 ・今後のスケジュールの確認

令和7年 8月22日	第3回準備委員会	・令和7年度目標、スケジュールの確認
令和7年 11月7日	第2回教育・学校運営部 会	・校名、校歌、校章について検討
令和7年 11月11日	第2回施設・通学路部会	・通学や、佐屋中学校、立田中学校の交通安全指導について検討
令和7年 11月25日	第2回地域課題部会	・学校と地域の連携、PTA、コミュニティスクールについて検討
令和8年 3月27日	第4回準備委員会	・検討部会の報告 ・答申書について (予定)

準備委員会委員名簿（令和6年度）

氏名	職務	区分	備考
勝田 拓真	委員長	有識者	名古屋学芸大学 特任教授
水谷 真治	副委員長	自治会代表	川北町総代
三輪 好一	委員	自治会代表	給父町総代
戸村 睦郎	委員	自治会代表	草平町総代
横井 廣勝	委員	自治会代表	西川端町総代
吉川 立洋	委員	学校評議員	八開中学校学校評議員
細野 淳子	委員	学校評議員	八開中学校学校評議員
佐藤 文昭	委員	学校評議員	佐織西中学校学校評議員
杉本 隆	委員	学校評議員	佐織西中学校学校評議員
横井 祥晃	委員	保護者代表	八開中学校 PTA
渡邊 徳仁	委員	保護者代表	佐織西中学校 PTA
富山 美奈子	委員	保護者代表	八輪小学校 PTA
野崎 勇志	委員	保護者代表	開治小学校 PTA
渡邊 幸愛	委員	保護者代表	草平小学校 PTA
深堀 ゆかり	委員	保護者代表	西川端小学校 PTA
村上 尚美	委員	公募委員	八開中学校区
鈴木 幸子	委員	公募委員	八開中学校区
飯野 大輔	委員	公募委員	佐織西中学校区
伊藤 敦	委員	公募委員	佐織西中学校区
市川 昇	委員	学校関係者	八開中学校長
中山 政彦	委員	学校関係者	佐織西中学校長

準備委員会委員名簿（令和7年度）

氏名	職務	区分	備考
勝田 拓真	委員長	有識者	名古屋学芸大学 特任教授
渡邊 徳仁	副委員長	保護者代表	佐織西中学校 PTA
三輪 好一	委員	自治会代表	給父町総代
横井 研二	委員	自治会代表	下東川町総代
神谷 篤治	委員	自治会代表	町方町総代
阿南 善洋	委員	自治会代表	浏高町副総代
吉川 立洋	委員	学校評議員	八開中学校学校評議員
細野 淳子	委員	学校評議員	八開中学校学校評議員
伊藤 正宣	委員	学校評議員	佐織西中学校学校評議員
渡邊 芳裕	委員	学校評議員	佐織西中学校学校評議員
横井 祥晃	委員	保護者代表	八開中学校 PTA
伊藤 滋矩	委員	保護者代表	八輪小学校 PTA
野崎 勇志	委員	保護者代表	開治小学校 PTA
渡邊 幸愛	委員	保護者代表	草平小学校 PTA
深堀 ゆかり	委員	保護者代表	西川端小学校 PTA
村上 尚美	委員	公募委員	八開中学校区
鈴木 幸子	委員	公募委員	八開中学校区
飯野 大輔	委員	公募委員	佐織西中学校区
伊藤 敦	委員	公募委員	佐織西中学校区
市川 昇	委員	学校関係者	八開中学校長
中山 政彦	委員	学校関係者	佐織西中学校長

B中学校(仮称)創設に向けた進行計画

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
1	教育・学校運営	学校運営	日課表、時間割、勤務時間			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校前年度内に素案を作成する。
2	教育・学校運営	学校運営	年間行事計画		○	○	○	○	統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整します。
3	教育・学校運営	学校運営	両校の文化の理解(行事)		○	○	○	○	生徒間・教員間交流を行い、統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整する。
4	教育・学校運営	学校運営	学校ごとの規律、方針の差の穴埋め		○	○	○	○	市内生徒指導部会において情報交換を行っている。情報交換を含め検討を開始し、開校前々年度内に方向を決定し、職員・生徒・保護者へ周知する。必要に応じて修正を加える。
5	教育・学校運営	学校運営	校訓			○	○		素案を作成し、検討を重ねた後、開校前年度内に決定する。
6	教育・学校運営	学校運営	職員会議等の議題				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
7	教育・学校運営	学校運営	学校運営機構				○	○	2校のうち、基とする学校運営機構を決定する。
8	教育・学校運営	学校運営	通知表の様式、所見の統一			○	○	○	現在、市内での統一がなされている。統一様式を採用する。
9	教育・学校運営	学校運営	教科部会(学習内容)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
10	教育・学校運営	学校運営	総合学習の名称				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
11	教育・学校運営	学校運営	学級編成				○	○	教員・生徒間の交流と合わせて両校同士の調整が必要
12	教育・学校運営	学校運営	特別支援学級対応	○	○	○	○	○	生徒の特性や発達段階を的確に把握し、個別のニーズに合わせた適切な指導を行う。
13	教育・学校運営	学校運営	学級活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
14	教育・学校運営	学校運営	委員会活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
15	教育・学校運営	学校運営	学校保健安全計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする計画を決定する。
16	教育・学校運営	学校運営	給食指導計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする計画を決定する。
17	教育・学校運営	学校運営	清掃指導計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする計画を決定する。
18	教育・学校運営	学校運営	生徒手帳		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
19	教育・学校運営	学校運営	制服		○	○	○		デザインの決定方法、応募、選定方法について検討を開始する。
20	教育・学校運営	学校運営	体操服、ジャージ所持品等		○	○	○		情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
21	教育・学校運営	学校運営	名札		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
22	教育・学校運営	学校運営	校名	○	○	○			校名の選定方法について検討を開始し、開校3年前までに応募を開始する。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
23	教育・学校運営	学校運営	校章・校歌・校旗	○	○	○	○		決定方法の検討及び予算要望を含め作成を依頼する。
24	教育・学校運営	学校運営	公印・職印		○	○	○		検討及び予算要望を含め作成を依頼する。
25	教育・学校運営	閉校へ	閉校式		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
26	教育・学校運営	閉校へ	記念誌		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
27	教育・学校運営	閉校へ	閉校記念品		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
28	教育・学校運営	閉校へ	学校お別れの会		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
29	教育・学校運営	開校へ	入学始業式				○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
30	教育・学校運営	開校へ	開校式			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
31	教育・学校運営	教育	学習内容			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
32	教育・学校運営	教育	副教材の統一			○	○	○	両校で情報交換を含め、副教材の選定や授業スタイル、年間指導計画の調整を行う。
33	教育・学校運営	教育	評価基準		○	○	○	○	事前の両校の教員間ですり合わせを行い、共通理解を図っていく。
34	教育・学校運営	教育	定期テストの科目、 期間等の形態統一			○	○	○	事前の両校の教員間ですり合わせを行い、共通理解を図っていく。
35	教育・学校運営	教育	学校教育目標(学習面)				○	○	素案を作成し、検討を重ねた後、開校前年度内に決定する。
36	教育・学校運営	教育	進路指導計画	○	○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
37	教育・学校運営	教育	教室に行けない 生徒への対応	○	○	○	○	○	生徒の状況を理解し、関係機関とも連携し、安心できる環境を整える。
38	教育・学校運営	教育	学力補充				○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
39	教育・学校運営	給食	給食の見直し			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
40	教育・学校運営	給食	給食時間の進め方			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
41	教育・学校運営	生徒会	生徒会の在り方 (規約、選挙、議会)		○	○	○	○	各校の生徒会活動の交流に加え、こども主体で決定し、適宜状況の確認と生徒の意見を聞き取りする。
42	教育・学校運営	生徒会	生徒会行事精選		○	○	○	○	開校3年前から両校での交流活動と合わせて情報交換を含め、検討を開始する。
43	教育・学校運営	生徒会	開校当初の役員人選			○	○	○	開校2年前から両校での生徒会役員の交流活動と併せて統合後の役員選挙の時期を検討する。
44	教育・学校運営	保護者	懇談会・家庭訪問 の持ち方		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
45	教育・学校運営	部活動	部活 (種類、実施日、地域移行)	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
46	教育・学校運営	部活動	部活動(地域人材の確保)			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
47	教育・学校運営	部活動	スポーツの見直し			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
48	教育・学校運営	部活動	部活動を含む課外活動			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
49	教育・学校運営	部活動	クラブハウスの整備	○	○	○	○	○	部活動地域展開と併せて検討する。
50	教育・学校運営	部活動	部活動 現中1生への対応			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
51	教育・学校運営	部活動	部活動 現小6生への対応				○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
52	教育・学校運営	部活動	部活動 各大会への参加	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
53	教育・学校運営	部活動	部活動 合同部活対応	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
54	教育・学校運営	部活動	備品の整備・調整			○	○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
55	教育・学校運営	部活動	ユニフォーム			○	○	○	開校2年前から両校での交流活動と併せて検討する。
56	教育・学校運営	部活動	地域人材の確保	○	○	○	○	○	引き続き部活動指導員の確保に努めていく。
57	教育・学校運営	事前交流	教員間の交流			○	○	○	合同研修などでの人事交流ができると良い。生徒指導の在り方や、教育方針等、教員間にある様々な感覚の違いを是正するため、話し合いが必要。
58	教育・学校運営	事前交流	生徒間の交流		○	○	○	○	統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要。特に統合前 2 年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む。
59	教育・学校運営	事前交流	交流活動 (小学校を含めて)		○	○	○	○	統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要。特に統合前 2 年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む。
60	教育・学校運営	教職員	勤務時間				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
61	教育・学校運営	教職員	市職員配置				○	○	開校1年前から教員配置と併せて検討する。
62	教育・学校運営	事務関係	書類の整理保管、移動、廃棄		○	○	○	○	学校の統合に伴う書類の整理、保管、移動、廃棄を含め検討を開始する。
63	教育・学校運営	事務関係	振替金額の年間計画		○	○	○	○	統合校は、各校の予算事務・徴収方法を踏まえながら、市内共同実施等で事務職員に指導を仰ぎ、旅行積立金額、学校徴収金(学習に関する)金額、徴収方法、金融機関等、情報交換を含め検討し、計画を策定する。
64	教育・学校運営	事務関係	振替口座作成依頼		○	○	○	○	同上
65	教育・学校運営	事務関係	各種会計簿の残金確認		○	○	○	○	同上
66	教育・学校運営	防災	災害時対応通知	○	○	○	○	○	現在、学校と保護者、地域をつなぐための連絡システム「すぐーる」にて通知を行っている。
67	教育・学校運営	危機管理	危機管理マニュアル策定				○	○	佐織西中の危機管理マニュアルを基に作成し修正を加える。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
68	教育・学校運営	危機管理	避難訓練の計画			○	○	○	開校2年前より情報交換を含め検討し、開校前年度に素案を作成する。
69	教育・学校運営	その他	統合後のサポート体制	○	○	○	○	○	引き続き、心のケア体制を構築し、専門家や関係機関と連携しながら生徒が安心して学校生活を送れるようにサポートしていく。
70	教育・学校運営	その他	小中連携	○	○	○	○	○	現在において継続して実施している。
71	教育・学校運営	その他	開校年度に関する 各種調査への回答				○	○	開校前に回答できる各種調査(例:進路状況調査)は前年度分を翌年度に調査・報告する。
72	教育・学校運営	その他	住所、メルアド、HP開設				○	○	学校名が決定したうえで、メルアド、HP開設を行う。
73	施設・通学路	学校施設	教室配置	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
74	施設・通学路	学校施設	教室及び環境整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
75	施設・通学路	学校施設	職員室の配置	○	○				開かれた、生徒が入りやすい職員室の配置を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
76	施設・通学路	学校施設	職員室における 座席増設	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
77	施設・通学路	学校施設	生徒用ロッカーの大型化	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
78	施設・通学路	学校施設	机・椅子の大型化			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
79	施設・通学路	学校施設	机・椅子(生徒用の確保)			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
80	施設・通学路	学校施設	トイレの整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
81	施設・通学路	学校施設	エアコン増設	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
82	施設・通学路	学校施設	特別教室へのエアコン移設		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
83	施設・通学路	学校施設	空調管理(冷暖房、空気清浄等)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
84	施設・通学路	学校施設	Wifiの環境整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
85	施設・通学路	学校施設	更衣室の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
86	施設・通学路	学校施設	みんなで食事ができる カフェテリア	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
87	施設・通学路	学校施設	駐輪場の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
88	施設・通学路	学校施設	駐車場の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
89	施設・通学路	学校施設	必要備品の検討		○	○	○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
90	施設・通学路	学校施設	個人の所有品管理				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
91	施設・通学路	学校施設	外部からの侵入対策	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
92	施設・通学路	学校施設	施設・施設の老朽化対策 (避難所としての機能)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
93	施設・通学路	学校施設	魅力ある学校	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
94	施設・通学路	統合校舎	生徒職員下駄箱	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
95	施設・通学路	プール関連	運用調整(小との関連)	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
96	施設・通学路	プール関連	補修整備	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
97	施設・通学路	防災	防災グッズの整備			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
98	施設・通学路	防災	電気自動車用の充電場所	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
99	施設・通学路	跡地利用	跡地利用の検討			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
100	施設・通学路	教科・管理備品	備品台帳の整備・調整		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
101	施設・通学路	教科・管理備品	不足分の備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
102	施設・通学路	教科・管理備品	廃校後の校内整理					○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
103	施設・通学路	教科・管理備品	統合校への備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
104	施設・通学路	教科・管理備品	図書室蔵書の調整と移動		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
105	施設・通学路	教科・管理備品	歴史的資料・書籍		○	○	○	○	歴史的資料・書籍の検討・調査を開始し、開校前に移設を行う。
106	施設・通学路	コンピュータ備品	職員コンピュータの調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
107	施設・通学路	コンピュータ備品	タブレット搬入				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
108	施設・通学路	コンピュータ備品	ICT備品確認・調整			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
109	施設・通学路	コンピュータ備品	大型モニター・ 電子黒板調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
110	施設・通学路	通学	通学路の指定 (メイン道路)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
111	施設・通学路	通学	通学路の防犯カメラ 整備(公共or個人)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
112	施設・通学路	通学	通学方法の検討	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
113	施設・通学路	通学	自転車通学規約	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
114	施設・通学路	通学	通学体験	○	○	○	○		生徒が安全に登下校できるように、開校1年前までに通学体験の実施に向け計画する。
115	地域課題	地域	中学生の ボランティア活動	○	○	○	○	○	現在両校で実施されているボランティア活動を含め情報交換を行う。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
116	地域課題	地域	地域との相互理解を進める 話し合いの場			○	○	○	子どもたちの成長を支えることを目指し、地域と学校が連携・協働できる話し合いの場を設ける。
117	地域課題	地域	キャリア学習(地域交流)			○	○	○	現在行われている地域交流の取組を含め両校で情報交換を行い、必要に応じて年間行事計画に反映する。
118	地域課題	地域	地域住民が入りやすい学校	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
119	地域課題	地域	土日の図書室の地域利用	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
120	地域課題	地域	地域の行事				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
121	地域課題	学校運営・地域	PTAの在り方	○	○	○	○	○	2校間の情報を共有し、素案を作成する。開校前までにPTA総会及び役員会等で方針、原案作成及びその承認を行う。
122	地域課題	地域	学校評議員	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
123	地域課題	地域	地区まちづくり			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
124	地域課題	地域	コミュニティスクール	○	○	○	○	○	地域住民や保護者、学校関係者が一体となって学校運営に関わるコミュニティスクールの導入に向けて取り組む。
125	地域課題	地域	地域学習における 人材の確保	○	○	○	○	○	現在行われている地域学習の取組を含め両校で情報交換を行い、人材の確保に努める。
126	地域課題	地域	地域学習(行事・祭礼)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
127	地域課題	地域	地域学習(地域振興)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
128	地域課題	地域	地域学習(防災)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
129	地域課題	その他	子供たちの意見聴取の機会		○	○	○	○	必要に応じて、生徒の意見聴取の機会を設ける。